



ふ れ あ い

市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

備えあれば憂いなし

11月は防災訓練の季節です。私が経済産業省に勤務していた際、東日本大震災後に、東電の福島原発事故の避難者等の賠償問題を担当し、以後、津波被災地域を含めた震災・津波復興全般に関わってきました。

そこで痛感したのは、この表題の言葉「備えあれば憂いなし」です。昔から津波被害が頻繁にあり、「つなみてんでんこ」（津波避難は何よりまず自らが避難する）の言い伝えを誰もが知っているはずの三陸沿岸の人々でさえ、防潮堤があるからと油断したり、間違った場所に避難したり、自動車で避難しようとして渋滞にはまったりして多数の方が津波の犠牲になりました。一方、日ごろから、「自分で考え、自分で避難する」訓練を怠らなかった学校では、中学校の生徒が小学生や幼稚園児を、通常の避難所よりも高い場所に誘導して、多くの命を救った例や、たまたま直前に避難訓練をしていた結果、人命被害がほとんど出なかった地域もありました。

明暗を分けたのは、その地域でどれだけ多くの方が災害の時の行動を普段から考え、準備していたかだと感じます。その準備は、地域によっても、災害の種類によっても違います。東日本大震災では、地震は大きく長く揺れたため、家屋倒壊よりも圧倒的に津波の被害の方が大きくなりました。阪神淡路大震災では、直下型のため、家



昨年の総合防災訓練のメイン会場となった福良小学校に避難する地域の人たち

屋の倒壊や火事が人命を奪いました。また、最近では、集中豪雨に伴う川の氾濫や土砂崩れが多くの被害をもたらしています。

行政としても、地域ごとの災害のリスクを想定しつつ、防災施設の整備、連絡体制の強化に取り組むとともに、企業と提携して、啓発に努めたり（注）、災害時の物資の調達の確保に努めたりしています。しかし、地域によって、最も危険な災害の種類も違えば、対策も違います。もっとも重要なことは、現にそこにいる住民が、そのリスクを自ら想定し、対策を考え、備えておくことです。「自分の身は自分で守る、地域の安全は地域で守る」が、防災の基本です。

11月5日には、島内一斉の防災訓練が行われます（24頁に掲載）。南あわじ市は、例年、県下随一の参加者数を誇ります。今年も、自治会ごとに工夫しながら避難訓練等を実施していただきます。住民の皆様におかれても、是非ご参加いただくようお願いしたいと思います。

（注）西日本電信電話株式会社との提携により、防災の知恵・避難所地図等を記載した防災タウンページ（カレンダー型）を全戸に配布。（2頁に掲載）



◆第2回くにうみ祭のご案内

今年もキャンパス内を会場に、学園祭「第2回くにうみ祭」を開催いたします。駐車場は多数ありますので、車でご来場できます。ぜひお越しください。

日時 11月11日（土）午前10時～午後4時

内容 ●ステージ（体育館）＝三原志知和太鼓クラブ志童、西淡中学校吹奏楽部、学内軽音部による演奏ほか。●中庭＝唐揚げ、焼きそばほか学生模擬店や一般からの出店、地域おこし協力隊によるふるまいなど。また、先着300人スタンプラリーで豪華賞品抽選会やチャリティーバザー、写真コンテスト、淡路ブランド創作料理コンテストも同時開催。

同大事務室 ☎ 42-4700



写真は、昨年開催された第1回くにうみ祭。



※ステージプログラムなど詳しい情報は、フェイスブックをご覧ください

吉備国際大学からのお知らせ



公園島淡路をめぐし「あわじ花と緑のコンクール」

淡路島くにうみ協会とあわじ緑花協会では、人と自然の豊かな関係をきずく「公園島淡路」をめざして、より多くの人に花・緑づくり活動に取り組んでいただくために毎年「あわじ花と緑のコンクール」を実施しています。32回目の今回は市内から4点が入賞しました。受賞者は次のとおりです。

- ※市内受賞のみ掲載
- 優秀賞
 - 淡路県民局長賞 木下 道子さん（福良）
 - 淡路教育事務所長賞 津井幼稚園
- 奨励賞
 - 淡路島くにうみ協会賞 津井花クラブ
 - あわじ緑花協会賞 ルファイージュ（八木）

ローン借入金金利優遇 住宅金融支援機構と協定締結

市外からの転入人口の増加と定住を促進するため、平成28年度からマイホーム取得事業補助金制度がスタートしました。市ではさらなる移住促進を図るため9月29日、独立行政法人住宅金融支援機構と（フラット35）地域活性化型及び南あわじ市マイホーム取得事業補助金に係る相互

協定に関する協定書」を締結しました。この締結によりマイホーム取得事業補助金の交付対象者で、「フラット35」地域活性化型を利用した人は、当初5年間にわたり借入金金利が0.25%引き下げられます。詳しくは市ホームページをご覧ください



調印された協定書を持つ守本市長（左）と住宅金融支援機構近畿支店の柳瀬守支店長（右）

淡路広域管工事業協同組合 南あわじ支部へ感謝状を贈呈



守本市長から感謝状を受け取った淡路広域管工事業協同組合の藤原基延理事長（右）と泉達也副理事長中央

市役所で9月22日、下水道の普及に貢献した淡路広域管工事業協同組合南あわじ支部へ、守本市長から感謝状が贈呈されました。これは生活環境の向上と水環境の保全の目的を理解いただき、下水道接続推進と啓蒙、またライフラインの緊急対応や下水道接続相談会など、長年にわたる功績と尽力に感謝するものです。

高齢者見守り事業 株式会社マイ・マートと協定



守本市長と協定締結を交わす株式会社マイ・マートの橋本社長（右）

市内の高齢者世帯の見守り活動に地域の民間事業者にも協力していただくため、8月24日、株式会社マイ・マートと「協力事業者による高齢者見守り事業」の協定を締結しました。同社は、10月19日から希望者宅まで食品・日用品の販売にまわる移動スーパー「とくし丸」の営業を開始。交通手段のない買い物弱者

を支援するほか、販売を通じて高齢者と顔を合わせることで見守り活動を行います。橋本琢万代表取締役社長は、「とくし丸を利用していただくことで、週2回は販売員と高齢者の方が顔を合わせ会話ができ、体調の変化などを見守ることができるよう。地域にとつて無くてはならない存在になりたい」と抱負を語っていました。